

2011年3月25日
東レ株式会社

「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」の影響に関するお知らせ (第2報)

3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」による東レグループへの影響の現状と今後の見通しについて、以下の通りお知らせします。

記

1. 東レグループの対応状況

全社対策本部を中心に、東京電力・東北電力管内で実施されている計画停電の影響を織り込みながら、事業活動の全面的な再開に向けた復旧、災害支援を進めています。

- (1) 東レ千葉工場(千葉県市原市)は、3月15日からABS樹脂の生産を順次再開してミニマム運転を維持してきましたが、3月24日からほぼ通常の稼動に復しました。
また、土浦工場(茨城県土浦市)は、3月23日からポリプロピレンフィルムの生産を順次再開しています。
- (2) 被災地域には主要な関係会社拠点が8社10工場(*1)あり、一部では3月14日以降、順次生産を再開していますが、東レフィルム加工(福島県鏡石町)は3月末から順次運転を再開する計画です。また、東レ東燃機能膜合同会社(栃木県那須塩原市)では3月28日以降、電力供給の状況を見極めながら、順次生産を再開する予定です。
なお東レACE(福島県小野町)は、福島第一原子力発電所での対策を注視しつつ、復旧作業を進めているところです。

(*1) 東レフィルム加工(福島県鏡石町)、曾田香料(福島県郡山市、千葉県野田市)、東レ東燃機能膜合同会社(栃木県那須塩原市)、東洋プラスチック精工(福島県郡山市、埼玉県川口市)、東レACE(福島県小野町)、東レ・ダウコーニング(千葉県市原市)、東レテキスタイル(群馬県桐生市)、東レ・ファインケミカル(千葉県市原市)

2. 原料調達に関する影響

一部原材料で調達に影響が出ていますが、主要原料については調達先の代替、国内外グループ会社によるグローバルオペレーションにより、当面の必要量を確保しています。

3. 製品供給に関する影響

被災地向け救援物資輸送を優先するため、並びに燃料不足を主因とする物流混乱のため、関東・東北地域のお客様にはご不便をおかけしております。関東向けは、これまで一部被災地域を除いて緊急出荷便中心の対応でしたが、3月28日から通常の出荷対応を再開します。東北向けでは一部被災地域を除き、当面は緊急出荷便を中心に対応して参ります。

4. 東レグループによる復興支援状況

被災地に対する東レグループの支援状況は以下の通りです。

(1) 実施済み物資(3月14日公表)

品名	数量	送付先
断熱性床敷きシート(*2)	13,500m	滋賀県経由 福島県福島市
保温性インナーウェア (男性・女性・子供向け)	30,000着	大阪府災害対策本部経由 自衛隊、 及びNPO法人 ジャパンプラットフォームの支援先 など
抗菌防臭アクリル毛布	3,450枚	大阪府災害対策本部経由 自衛隊
災害対策用小型造水機(*3)	5台	岩手県宮古市 秋田県横手市 山形県東根市 他

(*2) 断熱性床敷きシートについては、さらに39,900mを支援予定です。

(*3) 災害対策用小型造水機については、さらに1台を支援予定です。

(2) 追加物資

品名	数量	送付先
カーペット	324枚	日本カーペット工業組合
マスク	10,000枚	アジア太平洋子供救済センター
寝袋	1,000個	未定
耐切創手袋	10,000双	未定
医療用手袋	40,000双	未定
医療用血液循環促進ストッキング	4,000本	未定
ネコ風邪用の薬	100本	日本獣医師会

(3) 義捐金(日本および各国の赤十字社、日本人商工会議所など向け)

東レグループ合計	約 14,000万円
<内訳> 東レ株式会社	6,000万円(*4)
蝶理株式会社	2,000万円
東レインターナショナル株式会社	1,000万円
東レ・ファインケミカル株式会社	200万円
東レエンタープライズ株式会社	200万円
丸佐株式会社	200万円
韓国グループ各社	1,400万円
米国グループ各社	約1,000万円
欧州グループ各社	約1,000万円
その他海外(中国、アセアン各国、台湾等)及び国内会社	約1,000万円

(*4) 3月14日に5,000万円の拠出を決定後、本年予定されていた当社創立85周年記念事業を中止し、その費用を充当して追加1,000万円の拠出を決定。

(*4) 集計値の一部には、従業員による拠出金を含む。

以上